

ITASCA FLAC/DEM 事例紹介セミナー2018

日時 & 会場 **2017年10月17日(水) 13:30～17:00 会場:CTC東京本社 20Fセミナールーム**

開始	終了	タイトル	講演概要	講演者
13:30	13:35	ご挨拶		伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
13:35	14:00	■ FLAC3Dユーザー事例紹介 「Griddle/FLAC3Dを用いたトンネルの安定性解析」	トンネルの安定性解析において、岩盤の変形特性や強度のみでなく、原位置応力と支保システムを適切に考慮することが重要である。本日は、Griddleを使用した大規模三次元モデルの作成と初期応力再現解析への適用事例をまず紹介する。特に、岩盤剛性の不均質性が原位置初期応力へ与える影響を示し、それを考慮した応力補正手法を紹介する。最後に、FLAC3Dを用いたトンネル支保システムのモデリング手法に関して説明する。	国立大学法人 熊本大学 オノ木 敦士 先生
14:00	14:05	質疑応答		
14:05	14:30	■ FLAC3Dユーザー事例紹介 「FLAC3Dを用いた硬岩礫混じり地山でのトンネル掘削解析手法の提案」	硬岩礫混じり地山でのトンネル設計・施工は、トンネルを掘削した時の地山内での硬岩礫の挙動が不明確であるためこれまで多くの技術者が苦慮してきた。本研究では、有限差分法三次元数値解析コードFLAC3Dを用いた硬岩礫混じり地山とトンネル掘削時の地山挙動を2種類の分割モデルで再現し、地山挙動予測手法の提案を行った結果、トンネル未掘削地山では硬岩礫含有率が40%を超えると矩形分割モデル、60%を超えるとボロノイ分割モデルにおいてもモデル内の硬岩礫同士が接触する影響が見られることが分かった。加えて、硬岩礫混じり地山にトンネルを掘削する際は、ボロノイ分割法によって硬岩礫をモデル化することで、硬岩礫の押出し挙動がより現実的に再現できることがわかった。	国立大学法人 山口大学 林 久資 先生
14:30	14:35	質疑応答		
14:35	15:00	■ 3DECユーザー事例紹介 「3DECを用いた断層の破壊進展解析と地表断層変位評価」	地表断層変位のハザード評価手法の一つとして数値解析が考えられる。3DECでは、断層を陽に配置した解析モデルによる三次元解析が可能である。断層の動力学的破壊進展解析を実施するためのすべり弱摩擦則を3DECに導入した。これを用いて、地震を発生させる断層(主断層)の周辺に副次的な断層(副断層)が分布する状況を想定し、主断層で地震が発生した際の副断層変位を評価する解析について例を示す。	一般財団法人 電力中央研究所 澤田 昌孝 様
15:00	15:05	質疑応答		
15:05	15:30	休憩(25分)		
15:30	16:10	■ 講演 「PFC-FLAC3D連成解析理論・事例紹介、PFC新バージョン新機能紹介」	最先端の有限差分法FLAC3D+個別要素法PFCの連成解析の理論、事例紹介。新バージョンPFC V.6.0の新機能のご紹介。	Itasca Consulting Group, Inc. Dr. Sacha EMAM
16:10	16:15	質疑応答		
16:15	16:45	■ 活用事例紹介 「FLAC/DEMソフトウェア活用事例紹介」	防災、安全性評価等に関するITASCAソフトウェアの最新の活用事例のご紹介	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
16:45	17:00	フリーディスカッション		

※タイムスケジュールの内容は予告なく変更となる場合があります。ご了承下さい。